

# 平成22年3月期 第1四半期決算短信(非連結)

平成21年8月7日

上場会社名 カネヨウ株式会社

上場取引所 大

コード番号 3209 URL <http://www.kaneyo-net.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 土田 外志建

問合せ先責任者 (役職名) 取締役職能担当 (氏名) 山成 哲央

TEL 06-6227-6510

四半期報告書提出予定日 平成21年8月12日

配当支払開始予定日

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第1四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

### (1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	1,958	8.0	22		34		34	
21年3月期第1四半期	2,128		41		56		54	

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	2.47	
21年3月期第1四半期	3.88	

### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	5,117	633	12.4	45.11
21年3月期	5,492	638	11.6	45.50

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 633百万円 21年3月期 638百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期					0.00
22年3月期					
22年3月期 (予想)					0.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期	4,770	0.2	13		19		20		1.42
累計期間									
通期	10,300	0.9	90		20		19		1.35

(注)業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

##### (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、3ページ「定性的情報・財務諸表等」4.その他をご覧ください。〕

##### (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

会計基準等の改正に伴う変更	無
以外の変更	無

##### (3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	14,066,208株	21年3月期	14,066,208株
期末自己株式数	22年3月期第1四半期	22,012株	21年3月期	22,002株
期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第1四半期	14,044,198株	21年3月期第1四半期	14,052,225株

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 1.上記の業績予想につきましては、平成21年5月15日に公表しました内容から変更してありません。
- 2.本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、3ページ「定性的情報・財務諸表等」3.業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、内外の製品在庫調整が進み激減していた生産・輸出に改善の兆しが見えるものの、企業業績の不振から設備投資は依然として回復せず、雇用情勢・所得水準の悪化から個人消費も低迷しており、厳しい状況が続いております。

このような状況の中、当社では前期に引き続き新中期経営計画の基本方針である「収益力の再構築」を図るべく、東京市場の集中的攻略を始めとし、営業力・提案力の充実と、安定収益の確保に取り組んでまいりました。その結果当第1四半期の東京市場に対する売上高比率は全売上高の39.6%と前年同期比6.2ポイント上昇し成果を上げつつあります。しかしながら、一般消費者の購買意欲は未だ回復するに至らず、売上高は当初予想を下回ることとなりましたが、引き続き利益率の改善、経費の圧縮等に努め利益面では当初予想を若干ながら上回ることが出来ました。その結果、当第1四半期の売上高は19億58百万円（前年同期比92.0%）、営業損失22百万円（前年同期41百万円の損失）、経常損失34百万円（前年同期56百万円の損失）、四半期純損失34百万円（前年同期54百万円の損失）となりました。

## 2. 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期会計期間末の資産合計は、前事業年度末の54億92百万円に比し3億74百万円減少し、51億17百万円となりました。減少の主因は、季節的な要因による商量の減少に伴い、受取手形及び売掛金の売上債権が5億55百万円減少したためであります。一方、負債合計は、前事業年度末の48億53百万円に比し3億69百万円減少し、44億84百万円となりました。減少の主因は、売上債権の減少理由と同様に、支払手形及び買掛金の仕入債務が5億28百万円減少したためであります。また、純資産合計は、前事業年度末の6億38百万円に比し、5百万円減少し、6億33百万円となりました。減少の主因は、その他有価証券評価差額金の増加により評価・換算差額合計が29百万円増加したものの、当第1四半期純損失を34百万円計上したためであります。

（キャッシュ・フローの状況）

当第1四半期における現金及び現金同等物の残高は5億28百万円となり、前事業年度末と比較して1億84百万円の増加となりました。

営業活動の結果得られた資金は21百万円（前年同期比71.5%減）となりました。主な要因は仕入債務が5億28百万円減少したものの、売上債権が5億55百万円、たな卸資産が48百万円それぞれ減少したことによるものであります。

投資活動の結果は若干の資金使用（前第1四半期は4百万円の使用）となりました。

財務活動の結果得られた資金は1億62百万円（前第1四半期は18百万円の使用）となりました。主な要因は短期借入金の借入によるものであります。

## 3. 業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の業績につきましては、個人消費が依然として低迷しており、当初予想の売上高を確保することが出来ませんでした。利益率の改善、経費の圧縮を図ることにより営業利益、経常利益、四半期純利益については当初予想を若干ながら上回っております。しかしながら、当業界を取り巻く環境は依然として厳しいと予想しており、現時点において第2四半期累計期間及び通期の業績予想に関しましては平成21年5月15日決算発表時の業績予想は変更いたしません。

## 4. その他

## (1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 棚卸資産の評価方法

棚卸資産の簿価切り下げに関しては、収益性の低下が明らかなものについてのみ正味売却価格を見積もり、簿価の切り下げを行う方法によっております。

## 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を算定している資産については、年度予算に基づく年間償却予定額を期間按分して算定する方法によっております。

## (2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

## 5【四半期財務諸表】

## (1)【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第1四半期会計期間末 (平成21年6月30日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	528,724	244,251
受取手形及び売掛金	2,505,775	3,061,354
商品	937,069	985,470
その他	80,968	198,863
貸倒引当金	20,949	18,413
流動資産合計	4,031,588	4,471,525
固定資産		
有形固定資産	573,023	574,463
無形固定資産	9,510	10,429
投資その他の資産	503,422	435,780
固定資産合計	1,085,957	1,020,673
資産合計	5,117,546	5,492,199
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,735,241	2,263,316
短期借入金	2,262,500	2,100,000
未払法人税等	1,346	2,586
賞与引当金	5,650	11,300
その他	202,036	219,368
流動負債合計	4,206,774	4,596,572
固定負債		
役員退職慰労引当金	17,430	19,845
その他	259,798	236,836
固定負債合計	277,228	256,681
負債合計	4,484,002	4,853,254
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	703,310	703,310
資本剰余金	138,353	138,353
利益剰余金	520,432	485,764
自己株式	1,963	1,962
株主資本合計	319,267	353,936
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	33,820	11,275
繰延ヘッジ損益	7,254	23,083
土地再評価差額金	273,201	273,201
評価・換算差額等合計	314,275	285,008
純資産合計	633,543	638,944
負債純資産合計	5,117,546	5,492,199

(2) 【四半期損益計算書】  
【第1四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	2,128,187	1,958,047
売上原価	2,009,401	1,827,488
売上総利益	118,786	130,558
販売費及び一般管理費	160,492	153,301
営業損失( )	41,706	22,742
営業外収益		
受取利息	788	591
受取配当金	746	453
受取賃貸料	5,850	4,620
その他	301	0
営業外収益合計	7,686	5,664
営業外費用		
支払利息	17,672	12,744
賃貸収入原価	4,642	4,418
その他	44	177
営業外費用合計	22,359	17,340
経常損失( )	56,379	34,418
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,162	-
特別利益合計	2,162	-
税引前四半期純損失( )	54,217	34,418
法人税、住民税及び事業税	250	250
法人税等調整額	-	-
法人税等合計	250	250
四半期純損失( )	54,467	34,668

## (3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純損失( )	54,217	34,418
減価償却費	2,604	2,420
無形固定資産償却費	961	918
長期前払費用償却額	382	337
貸倒引当金の増減額( は減少)	2,173	2,265
賞与引当金の増減額( は減少)	6,650	5,650
役員退職慰労引当金の増減額( は減少)	2,100	2,415
受取利息及び受取配当金	1,534	1,044
支払利息	17,672	12,744
売上債権の増減額( は増加)	591,130	555,578
破産更生債権等の増減額( は増加)	14,775	218
たな卸資産の増減額( は増加)	38,447	48,400
仕入債務の増減額( は減少)	349,889	528,074
その他	53,458	16,318
小計	93,702	34,962
利息及び配当金の受取額	1,874	925
利息の支払額	16,280	12,956
法人税等の支払額	2,154	944
営業活動によるキャッシュ・フロー	77,142	21,987
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	2,084	-
投資有価証券の取得による支出	57	-
長期貸付金の回収による収入	266	228
その他	3,030	987
投資活動によるキャッシュ・フロー	4,906	759
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額( は減少)	-	162,500
長期借入金の返済による支出	12,500	-
自己株式の取得による支出	180	0
その他	5,707	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	18,387	162,499
現金及び現金同等物に係る換算差額	235	807
現金及び現金同等物の増減額( は減少)	54,084	184,535
現金及び現金同等物の期首残高	498,121	344,189
現金及び現金同等物の四半期末残高	552,206	528,724

- ( 4 ) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。
- ( 5 ) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。